

# 葛巻福祉大学

## 地域間交流に 笑顔広がる

葛巻福祉大学第3回教室「秋のお楽しみ交流会」が11月27日と12月8日、高齢者福祉センターで行われ、合わせて約50人が参加しました。今回の福祉大学は地区の枠を超えて交流することを目的に実施。11月27日は中部Aと江刈A地区、12月8日は中部Bと北部地区の参加者が集まり、レクリエーションを通じて交流を深めました。

レクリエーションは町スポーツ協会の神谷牧子さんが講師となり、ポッチャのボールを使った「点取りゲーム」を実施。チーム対抗戦を行い、各チームとも競技もさることながら、応援にも熱が入っていました。大石ツナさん（田子）は「みんなで集まって話したり、体を動かすのは楽しい。みんなで声を合わせて士気を高めたので、元気が出た」と生き生きとした表情を見せていました。



1 神谷さんの指導で準備運動をする参加者  
2 思わず笑みこぼれる場面も  
3 慎重にボールを投球する参加者  
4 好プレーにハイタッチを交わす姿  
5 勝利を喜ぶチーム（奥側）  
6



町婦人連絡協議会（山形茂子会長、会員31人）は11月23日、ふれあい宿舎グリーンテージで、創立70周年記念式典と祝賀会を開催しました。会員や関係者ら約40人が出席し、長年の活動を振り返りながら、節目の年を盛大に祝いました。

記念式典では、山形会長がコロナ禍の影響で活動に制限のあった期間などに触れ「近年は想定できないようなさまざまな問題が起きる時代。その中でも女性ならではの視点でまちづくりに貢献していきたい」と今後への思いを話しました。鈴木重男町長は「町合併後の早い時期に設立し、まちづくりに貢献されたことに対し敬意を表する」とあいさつしました。

また祝賀会では、会員らが歌や踊りを披露。終始和やかな雰囲気、活動の思い出にも花が咲いていました。催しの最後を締めくくったのは、出席者全員が参加した葛巻音頭。会場は一体感に包まれ、70年の歴史を分かち合うひとときとなりました。



## 命と暮らしとふるさとを 守り続けて70年 婦人連絡協議会が節目迎える

同協議会は、町の合併と同じ年の昭和30年11月19日、各地区の婦人会9団体が加盟し設立。地域の暮らしを支え、女性の社会情勢や地球環境など大きな変化の中でも、それぞれの時代のニーズに寄り添った取り組みを展開。現在も「今できることを楽しみながら続ける」をモットーに精力的に活動しています。



1 記念式典では葛巻町民歌や岩手婦人の歌を斉唱  
2 祝辞を述べる鈴木町長  
3 あいさつする山形会長  
4 活動を振り返る映像を鑑賞  
5 祝賀会での一幕  
6 会場が一体となった葛巻音頭



### 『殺し屋の営業術』

野宮 有 著

契約成立のためには手段を選ばない凄腕営業マン・鳥井。アポイント先で刺殺体を発見し、そこから殺人請負会社に入社することに…。常識を覆す発想から走り出す、ジェットコースター・ミステリー！



### 『お米はすごい！』

柴田書店 編

火を使わずに、混ぜるだけで出来る上がる混ぜごはん、どんぶり、洋風料理、もち米料理など盛りだくさん！細かい工程写真と丁寧で分かりやすい説明で、低学年や小学校入学前のお子さんでも使いやすい内容です。



### 『給食当番のいちにち』

大塚 菜生 著

朝からそわそわしている1年生のみつくん。今日は初めての給食当番で、わくわくとどきどきでいっぱい。授業中も給食当番のことが頭から離れません。給食時間が待ちきれない！さてさて、どうなるのでしょうか…。

公民館  
図書室

## おすすめ本 紹介